

第8回近畿周産期精神保健研究会

開催概要

■テーマ

『親になるとは』

■会期

2024年2月23日(金・祝)～24日(土)

23日(金) 周産期こころのケア研修・ワールドカフェ (現地のみ、定員120名)

24日(土) 特別講演・パネルディスカッション・一般演題 (現地+WEB開催)

■会場

JEC日本研修センター 心斎橋 2F コンベンションルーム

<https://www.jec.ne.jp/shinsaibashi/>

(大阪府中央区南船場1-18-11 SRビル長堀 TEL.06-6265-4040)

■会長

宮川 祐三子

(地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 看護部長)

■参加費

一般 8,000円

学生 3,000円 ※参加登録時に学生証をご提出いただく予定です。

プログラム

【1日目】

10:00～10:10 会長挨拶

10:10～12:00 周産期こころのケアワークショップ (周産期こころのケア研修班企画)

12:00～13:00 休憩

13:00～15:45 周産期の子どもと家族支援に向けた体験型多職種カンファレンス

15:45～16:00 総評

【2日目】

- 9：00～ 9：30 会長講演「親になるとは～助産師の立ち位置より～」
座長：窪田 昭男（月山チャイルドケアクリニック 名誉院長）
演者：宮川祐三子（大阪母子医療センター 看護部長）
- 9：30～10：20 一般演題1
座長：遠藤 誠之（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
生命育成看護科学講座母性胎児科学 教授）
吉田 佳織（大阪母子医療センター 小児専門看護師）
- 10：30～11：20 一般演題2
座長：望月 成隆（大阪母子医療センター 新生児科医師）
高倉 恵子（大阪急性期医療センター 看護師長）
- 11：30～12：15 特別講演1「妊娠期から考える親になるということ
～虐待に至る道を閉ざすために～」
座長：側島 久典（日本周産期精神保健研究会代表 新生児科医師）
講師：宮本 信也（筑波総合クリニック/筑波大学 名誉教授）
- 12：15～13：15 ランチョンセミナー
「Two unusual projects to promote maternal mental health based
on active listening and the Kintsugi philosophy」
座長：宮川祐三子（大阪母子医療センター 看護部長）
講師：Sandra Bode
- 13：15～14：15 特別講演2「閉ざされた生殖医療によって親となられた方々」
座長：窪田 昭男（月山チャイルドケアクリニック 名誉院長）
講師：根津 八紘（諏訪マタニティクリニック 院長）
- 14：15～14：25 休 憩
- 14：25～16：40 パネルディスカッション「親になるとは～それぞれの立ち位置より考える～」
座長：平野 慎也（大阪母子医療センター 新生児科医師）
川野 由子（甲南大学/大阪母子医療センター 臨床心理士）
- 16：40～16：50 総 評
- 16：50～17：00 閉会の辞